

# 武蔵野市

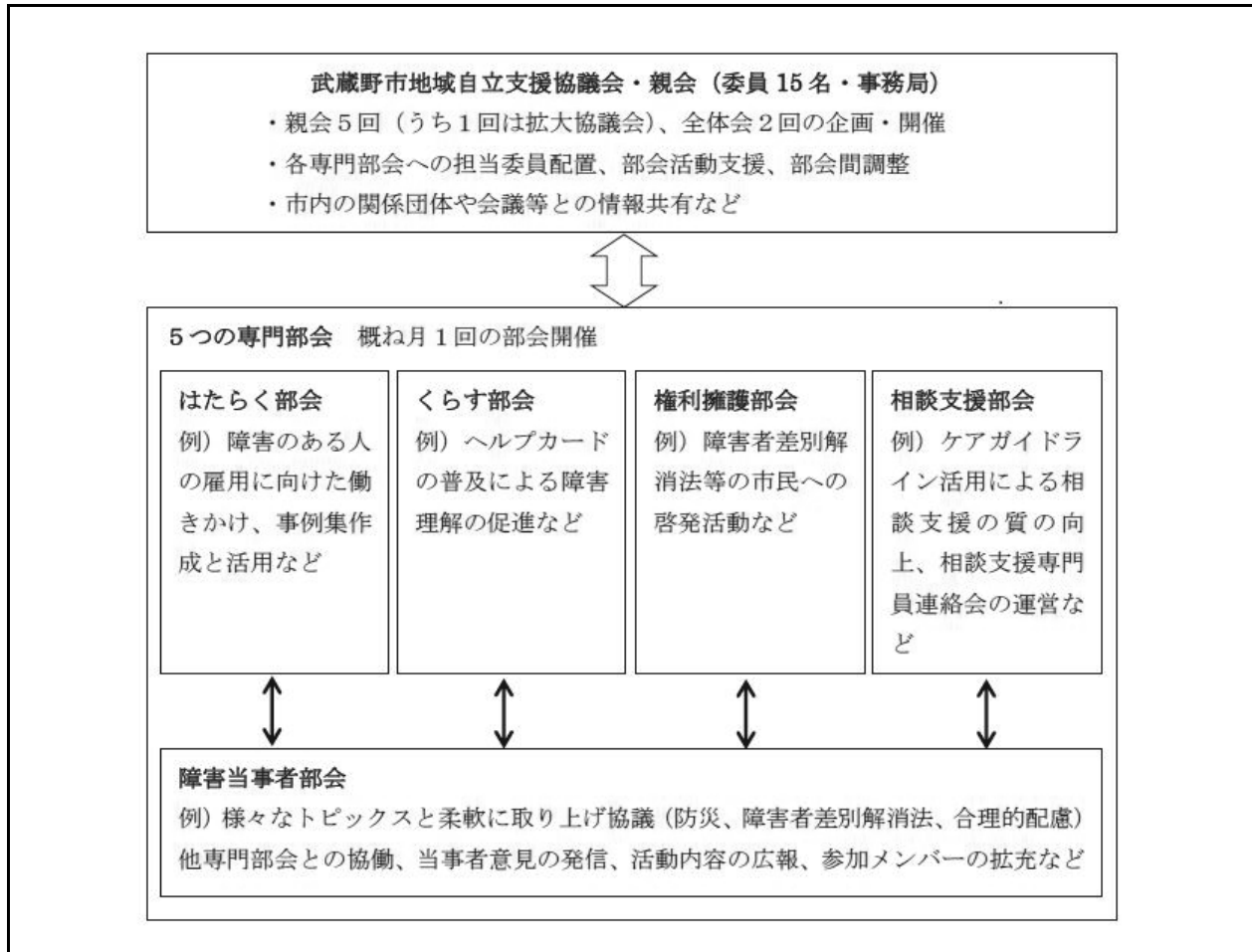
【名称】武蔵野市地域自立支援協議会

【ホームページURL】 [http://www.city.musashino.lg.jp/shisei\\_joho/sesaku\\_keikaku/kenkofukushibu/1008259/index.html](http://www.city.musashino.lg.jp/shisei_joho/sesaku_keikaku/kenkofukushibu/1008259/index.html)

【設置年月】平成20年4月

【運営方法】直営

【組織図】



## 【相談支援体制の整備状況】

基幹相談支援センター数	委託相談支援事業所数	指定一般相談支援事業所数		指定特定相談支援事業所数	指定障害児相談支援事業所数
		地域移行支援	地域定着支援		
1	3	3	3	12	5

## 【地域生活支援拠点等の整備状況】

整備状況	整備時期	整備類型
検討中	令和4年度	面的整備型

## 【日中サービス支援型共同生活援助の有無】

### (1) 日中サービス支援型共同生活援助の有無

開設の有無	開設時期
あり	令和3年3月

### (2) 自立支援協議会への日中サービス支援型共同援助に関する事業報告・評価状況

設けている

【全体会及び専門部会の活動回数及び委員数】

全体会の活動回数及び委員数

全体会	
回数	委員数
1	15 (1)

専門部会の活動回数及び委員数

部会名	回数	委員数
はたらく部会	6	13 (4)
くらす部会	7	12 (2)
権利擁護部会	6	12 (3)
相談支援部会	8	12 (1)
障害当事者部会	11	26 (17)

※「委員数」の（ ）：障害当事者（本人）で委員に就任されている方の人数（再掲）

【全体会の委員構成及び活動内容】

(1) 委員構成

種別	人数	種別	人数	種別	人数
学識経験者	1	医療関係者	0	保健所	1
教育関係機関	0	雇用関係機関	0	企業	0
障害当事者・家族・関係団体	2	身体・知的障害者相談員	0	相談支援事業者	3
障害福祉サービス等事業者	4	社会福祉協議会	1	法曹関係者	1
民生委員・児童委員	1	地域住民	1	行政職員(区市町村)	0
行政職員(都)	0	その他	0		
合計	15				

委員名簿

No.	役職	氏名	所属	種別	備考
1		荒木 大輔	社会福祉法人武蔵野障害者支援施設わくらす武蔵野施設長	障害福祉サービス等事業者	
2		安藤 直子	社会福祉法人武蔵野千川福祉会八幡作業所所長	障害福祉サービス等事業者	
3	会長	岩本 操	武蔵野大学人間科学部人間科学科教授	学識経験者	
4	副会長	植村 由紀彦	社会福祉法人武蔵野地域生活支援センターびーと施設長	相談支援事業者	
5		大山 智華	市民公募委員	地域住民	
6		久保田 聡	明日の風法律事務所弁護士	法曹関係者	
7		佐藤 清佳	武蔵野市民生児童委員協議会第二地区会長	民生委員・児童委員	
8		佐藤 律々子	株式会社浩仁堂地域活動支援センターコート施設長	相談支援事業者	
9		長谷川 圭	特定非営利活動法人ゆうあいセンター理事	障害福祉サービス等事業者	
10		福田 暁子	武蔵野市地域自立支援協議会障害当事者部会員	障害当事者・家族・関係団体	
11		福本 千晴	武蔵野市地域自立支援協議会障害当事者部会員	障害当事者・家族・関係団体	
12		藤原 千秋	東京都多摩府中保健所保健対策課地域保健第二担当課長代理	保健所	
13		三浦 明雄	社会福祉法人おおぞら会あすはKids管理者	障害福祉サービス等事業者	
14		森 新太郎	特定非営利活動法人ミュー統括施設長	相談支援事業者	
15		横山 美江	社会福祉法人武蔵野市民社会福祉協議会地域担当係長	社会福祉協議会	

(2) 活動内容

- ◆ 地域リハビリテーションの理念に基づき「武蔵野市障害者計画・第5期障害福祉計画」の推進主体としての役割を担うとともに、計画全体の点検・評価に取り組む。
- ◆ 障害者差別解消法の施行に伴い、障害の理解促進、合理的配慮の考え方の普及啓発に向けて積極的に発信していく。
- ◆ 障害当事者・家族及びサービス事業者の活動を超えて、広く地域福祉の視点に立ち、多様な人々との連携と共生社会の実現に向けた地域の醸成を目指す。
- ◆ 武蔵野市障害者計画・第6期障害福祉計画等策定委員も兼ねているため、中間のまとめに対する「市民意見交換会」への対応や「市長答申」の作成などを行った。

## 【専門部会の委員構成及び活動内容】

### (1) 委員構成

部会名 種別	はたらく部会	くらす部会	権利擁護部会	相談支援部会	障害当事者部会
学識経験者	0	0	1	0	0
医療関係者	0	0	0	0	0
保健所	0	0	0	1	0
教育関係機関	0	0	0	0	0
雇用関係機関	0	0	0	0	0
企業	0	0	0	0	0
障害当事者・家族・関係団体	4	2	3	1	23
身体・知的障害者相談員	0	0	0	0	0
相談支援事業者	4	1	1	5	0
障害福祉サービス等事業者	4	5	5	4	3
社会福祉協議会	0	1	0	0	0
法曹関係者	0	0	1	0	0
民生委員・児童委員	0	1	0	0	0
地域住民	0	1	0	0	0
行政職員(区市町村)	1	1	1	1	0
行政職員(都)	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
計	13	12	12	12	26

### (2) 活動内容

部会名	活動内容
はたらく部会	コロナ禍における就職者への影響や支援の取組みについて
くらす部会	ヘルプマーク・ヘルプカードの普及啓発活動について 新型コロナウイルス感染症の影響と災害時のあり方について
権利擁護部会	当事者とのコミュニケーション方法、コミュニケーションツールについて
相談支援部会	「当事者の声を活かした相談支援体制を考える」について 相談支援専門員連絡会の今後のあり方について
障害当事者部会	コロナ禍における当事者の声の発信方法について

## 【地域協議会の活動状況】

### 1 地域協議会の協議事項（複数回答）

#### ① 相談支援事業の運営体制に関すること

相談支援部会と連携して協議  
社会福祉法の一部改正を受け、重層的な相談支援体制の機能強化を図るとともに、様々な課題が複合的に発生する相談に対応すべく、福祉総合相談窓口の設置や福祉相談コーディネーターの配置の検討を行った。

## ② 就労支援に関すること

はたらく部会と連携して協議  
在宅勤務、ヘルパー付就労、短時間就労ニーズなどの現状把握を行った。

## ④ 高齢者福祉サービスとの連携に関すること

武蔵野市高齢者福祉計画・第8期介護保険事業計画策定委員会と連携して協議  
社会福祉法の一部改正を受け、重層的な相談支援体制の機能強化を図るとともに、様々な課題が複合的に発生する相談に対応すべく、福祉総合相談窓口の設置や福祉相談コーディネーターの配置の検討を行った。

## ⑦ 社会資源の開発及び改善に関すること

くらす部会と連携して協議  
バス会社にアンケート調査を実施し、集計結果のフィードバックを行った。

## ⑧ 障害者差別解消法や条例、権利擁護に関すること

権利擁護部会と連携して協議  
コミュニケーションツールに関する情報共有を行い、リスト化を行った。

## ⑨ 地域生活支援拠点等の整備に関すること

武蔵野市版地域生活支援拠点について、地域活動支援センターと意見交換を行った。

## ⑩ 障害福祉計画等に関すること

武蔵野市障害者計画・第6期障害福祉計画策定委員の兼務。計画策定に向け、障害者福祉についての実態調査、策定委員会の実施、市民意見交換会の対応などを行った。

## ⑪ 地域自立支援協議会の運営に関すること

これまでの協議会活動の振り返りを通して、今後の協議会の役割や部会を含めた活動の方向性を検討を行った。

## 2 地域協議会としての役割（複数回答）

## ② 情報共有・情報発信

親会は年2回の全体会、1回の拡大協議会を通して他の専門部会の活動を知り、部会間連携を支援する。専門部会は地域住民へセミナーや講座を開いて障害理解の促進をする。  
※今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により全体会および拡大協議会の開催を見送った。

## ③ 分野を越えてのネットワークの構築

高齢部門、子ども部門、教育部門など他分野の行政計画・ネットワークなどへのアプローチを検討する。  
特に今年度は、武蔵野市障害者計画・第6期障害福祉計画策定委員会として武蔵野市高齢者福祉計画・第8期介護保険事業計画策定委員会と連携して協議を進めた。

## ⑤ 地域課題の整理

当事者が実際に余暇を行って発見するバリアや、地域住民との交流セミナー等を実施して出る意見など、より市民目線の課題を検討している。

## ⑦ 障害福祉計画等の進捗管理や調整

武蔵野市障害者計画・第5期障害福祉計画の進捗管理を行った  
令和3年度をはじめとする武蔵野市障害者計画・第6期障害福祉計画の策定について、策定委員会としての協議の場となった

## ⑨ 構成員の資質向上・研修の場

各部会でテーマを設定し研修会や学習会を開催するなど  
※今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により開催を見送った。

⑩ 権利擁護・虐待防止

ふれあいカフェ（住民と障害当事者との座談会）、学習会の開催、虐待チェックリスト作成と活用など  
※今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により開催を見送った。

⑪ 相談支援過程における評価（相談支援の質の評価、機関等及びそれらの連携に関する評価、施策に関する評価、政策作成に係る提言）

相談支援専門員連絡会における意見交換などを通して、市内の相談支援事業所全体の質の向上を図る。

3-1 地域協議会における地域課題

あがっている

3-2 地域課題の把握方法（複数回答）

① アンケート、ヒアリング等

② 全体会、専門部会、各種連絡会等

3-3 地域課題に対して取り組んだ（取り組んでいる）内容又は取り組めなかった理由等（複数回答）

① 相談支援の質及び量

基幹相談支援センターと地域活動支援センターとの連絡会を月1回開催した。また次期計画についての意見交換を行った。また、相談支援専門員を対象に相談支援連絡会の今後の在り方についてのアンケート調査を行った。

② 社会資源の開発及び改善

地域福祉の会との地域交流などを通して新たな地域課題の発見や、地域の人々に障害についての周知や啓発を行うことで、地域で暮らしていける土壌を作るなど

③ 権利擁護・虐待防止

例年、ふれあいカフェ（住民と障害当事者との座談会）、学習会の開催、虐待チェックリスト作成と活用などを行っているが、今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により開催を見送った。

④ 高齢福祉分野との連携

特に今年度は、武蔵野市障害者計画・第6期障害福祉計画策定委員会として武蔵野市高齢者福祉計画・第8期介護保険事業計画策定委員会と連携して協議を進めた。

⑥ 緊急・災害等対応

コロナ禍においてインターネット環境が整っていない等の理由で、リモート会議への参加が難しい方への対応や災害時における地域や医療・消防等との連携、避難場所での課題について協議を行った。

⑦ 医療的ケア

桜堤ケアハウスデイサービスセンターの転用を図り、肢体不自由児を対象とした放課後等デイサービス「パレット」及び相談部ハビットのサテライトオフィスを令和2年12月に開設した。

⑧ 障害児支援

各部会から課題としてあがってきている子ども分野との連携について、検討している。

⑨ 教育支援

各部会から課題としてあがってきている教育分野との連携について、検討している。

⑩ 就労支援

障害のある人が適切な職業能力を身に付けられるよう、各種研修や関連機関との連携による情報の蓄積などを活かし、就労支援センターの質の向上を図っていく。

⑪ 地域移行・地域定着支援

精神障害者にも対応した地域包括ケアシステム構築推進のため、保健、医療、福祉等の関係者による協議の場の設置を目指す。

⑫ ライフステージを通じた支援

ライフステージが変化しても切れ目のない支援を継続（特に妊娠期から子育て期まで）できるよう、母子保健、子育て、教育などの関係機関と連携を図る。

3-4 地域課題の中で、広域又は東京都全域で対応するほうが良いと考える課題

① 相談支援の質及び量

地域生活支援拠点や基幹相談支援センターの広域連携について

⑨ 教育支援

教育との連携（特に特別支援学級）について

4 地域協議会における当事者の参画状況

（当事者の委員がいる区市町村）

4-1 多様な当事者の委員（障害や難病の種別、性別、年齢等）に参加していただくに当たり、取り組んでいること、課題になっていること

会議の開催をバリアの少ない会場で行う、資料の事前送付等（メール、データ）の情報保障などWeb会議システムを活用した遠隔参加も行っているが、オンラインの環境が整っていない方への対応が課題である。

（地域協議会を設置している区市町村）

4-2 当事者の委員だけではなく、地域で生活する多様な当事者（障害や難病の種別、性別、年齢等）の声を吸いあげられる地域協議会にするために、取り組んでいること、課題になっていること

当事者部会に参加している当事者が、その他の部会に派遣されることで、各部会の活動にも当事者の意見を取り入れることができる。また、各部会の参加者が当事者部会に参加（見学）することで、当事者とより近い距離で協議を進めることができる。